

タイトル: My own space

コロナ禍で人と会う機会が少なくなるからこそ、『私だけの空間』を大事にして過ごせるようにという意味が込められています。

詳細説明 ～新図書館のアイデア～

私の考えは、「ユーモア」と「アート」を利用しソーシャルディスタンスを生み出すということです。

まず、新図書館を無料エリアと有料エリアに分けます。無料エリアには、あえて机や椅子を設置せず座る場所を固定しません。折り畳みの机や椅子を用意して、自分たちで運び、自らソーシャルディスタンスをとることが出来るようにします。机と椅子は軽量化され、高齢者の方でも持てるようにします。

次に、室内には広いスペースと仕切りを用意します。しかし、「仕切り」と聞くと孤立感が生まれたり、見栄えも良いイメージがありません。仕切りの設置はこれから当たり前になってくるかもしれませんが、「仕切られている」と意識させてしまうことを防ぎたいです。

そこで、新図書館にはアートを利用したユーモア溢れる仕切りを作りたいと思っています。例えば、カラフルな半透明のアクリル板で仕切りを作ったり、水槽をイメージしてアクリル板に魚の絵を描くなどしたらどうでしょうか。絵を描く作業を静岡県内の幼稚園などに依頼することで地域の皆さんで作り上げた図書館になり、地域の活性化にも繋がると思います。半透明にすることで人が見え孤立感を削減し、開放感が出ると思います。曲線を描くカーテンを仕切りにしたり、様々な絵が美術館の様に飾られていると思ったら実は仕切りの役目を果たしている。なども面白いと思います。そうすれば孤立感ではなく自分の空間というものを意識したスペースになると思います。

使用した机や椅子の片付けは未使用の机や椅子とは別にすることで、使用されたものだけを雑菌消毒します。

有料エリアには、テーブルなどをソーシャルディスタンスを配慮した上で既に設置されている状態にします。有料にすることで、自らソーシャルディスタンスを取ろうとする人が増え良い影響を及ぼすと思います。

そして、本のストーリーをプロジェクターによって映像で映し出す部屋を用意するのはどうでしょうか。文面だけでなく物語の中に迷い込んだような体感ができる部屋を用意し、定期的に本のテーマを変えていけばリピーターが出るかもしれません。

新図書館には、室内だけでなく自然豊かな庭を用意し密室を防ぐと同時に森林減少の改善にも繋がります。コロナ禍で外出はしにくいですが、この様な形で自然の心地よさを感じることは心身ともに良いと思います。新図書館の空間に合わせたオブジェや観葉植物を置くことで、殺風景な雰囲気無くし若者の間でも話題になる図書館になれば良いと思います。実際に若者が本離れしているデータもあるので新図書館の設立を機会に改善され、静岡県内の1つの観光スポットとなれば素晴らしいと思います。

これらの様なソーシャルディスタンスの取り方を実現し、コロナ禍のネガティブなイメージをアートを通して変えていきたいです。SNSが発達する今便利な世の中ではあるけれど、SNSが原因でストレスを抱えてる人は多いと感じます。だからこそ、心を休ませ自分自身と向き合える空間は需要が高いと思います。この新図書館で安心して充実した時間を過ごすことで、心の豊かさを重視した今だからこそ感じられる『自分だけの空間』を楽しんでもらいたいです。